

Development Story

新世代ヘアスタイリング剤 「ギャツビー ヘアジャム」 誕生ストーリー

「生活者発・生活者着」で浮かび上がった新スタイリング剤の必要性

実態に愕然…

「高校生・大学生が
スタイリング剤を使っていない」

マンドムで毎年実施している生活者調査において、ヤング男性のヘアスタイリング剤の使用率が年々減少していることが分かりました。2001年では男子高校生のヘアスタイリング剤の使用率が80%近くあったのに対し、2012年にはわずか25%まで減少しています。しかし、ヘアスタイリング剤の今後の使用意向には過去から大きな変化はなく、2012年も65%と高い結果となりました。よって、今の高校生世代はヘアスタイリング剤への関心が低い訳ではなく、「自分たちにあったヘアスタイリング剤が無い」と考えていることがわかりました。

「さとり世代」の彼らが 目指すは、“スマートヘア”

現在の高校生・大学生は、一般的に「さとり世代」と言われるように、個性を主張せず周りに合わせて自分のキャラクターを使い分け、ヘアスタイリングも「マナーのため」、「第一印象を良くするため」に行っているという意見が多数でした。現在ヘアスタイリング剤の中で、主流となっているヘアワックスは、1990年代中ごろに市場に登場しました。当時はトップは立ち上げ、襟足は長く、毛先をねじって動きのあるつくり込んだヘアスタイルがトレンドでした。しかし、あまり個性を主張せず、ナチュラルなまとまりのあるヘアスタイル(スマートヘア)には、ヘアワックス剤型はミスマッチであると仮説を立てました。

世代別愛用スタイリング剤

10代～60代までが使用している主要スタイリング剤型を調べてみると、男性の場合は、スタイリング剤デビュー時に使っていた剤型を、年齢を重ねてもそのまま使い続ける傾向が分かります。

現在、「ワックス」は10代～40代前半の主流剤型となっていますが、10代においてはワックスの使用中断や新規エントリー数の減少が発生しています。



ヘアスタイリング剤 カテゴリーの活性化に成功 現在は海外へも展開拡大中

発売後の生活者調査では、高校生のヘアスタイリング剤使用率が32%、大学生49%へ上昇。ヘアスタイリング剤カテゴリーの活性化に成功しました。2014年には、このギャツビーヘアジャムを香港、韓国、台湾、シンガポール、マレーシアに水平展開し、海外での生活者にお役立ちしています。

独自技術 「パウダースタイリング」 技術を応用した、 新スタイリング剤を開発

ギャツビーヘアジャムには、マンダム独自の「パウダースタイリング」技術が使われています。「パウダースタイリング」技術とは、歪な形状のパウダーが髪表面に凹凸をつくることにより「ひっかけて整髪する」という技術です。これにより、自然な仕上がりでベタつかず軽い仕上がりに、スマートヘアにうってつけです。



商品特長

スタイリングテクノロジー“Natural Touch”で
ベタつかず固めずキマる×持続！ヘアジャムシリーズ。

【Black】ヘアジャム エッジニュアンス
シリーズ最強の整髪力！～短い髪もクセづけ自在。力強い立ち上げヘア～

【Blue】ヘアジャム タイトニュアンス
～立ち上げ＆タイトに抑えたきっちりヘア～

【Red】ヘアジャム スマートニュアンス
～さりげない動き＆まとまりのある毛流れヘア～

【Green】ヘアジャム ラフニュアンス
～軽やかでボリュームのあるふんわりヘア～